

平成 27 年 12 月 25 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 開示担当 小竹 康博  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は金融商品取引法第 24 条の 4 の 4 第 1 項に基づき、本日、関東財務局に提出します平成 27 年 9 月期（以下「当事業年度」という）の内部統制報告書に、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 開示すべき重要な不備の内容

下記に記載した財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。したがって、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効ではないと判断いたしました。

### 記

- ・適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した社内の人材が不足していたこと。
- ・決算業務に関して社内のチェック体制が不十分であったこと。
- ・これら決算・財務報告プロセスに係る内部統制の整備及び運用の不備に起因して重要な誤謬が発生し、監査人から指摘を受けたこと。

### 2. 当事業年度末日までには是正できなかった理由

当事業年度の末日までには是正されなかった理由は、連結決算規模の拡大に対応して外部の専門家を活用することで決算業務を適切に遂行するべく体制の構築を進めておりましたが、経理部員の退職等に伴い決算処理を適切に遂行するための能力及び経験を有した社内人材の補充が十分でなかったためであります。

### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、内部統制報告書提出日現在、適切な経理、決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した人材を採用する予定としており、早急に適切な内部統制を整備し運用する方針であります。

### 4. 連結財務諸表等に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な訂正事項は、平成 27 年 9 月期の有価証券報告書に反映させており、当該連結財務諸表及び財務諸表並びにこれに対する財務諸表監査に及ぼす影響はありません。

### 5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上